

## シラバス参照

科目名	公立文化施設論
配当年次	3年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	土屋 正臣(ツチヤ マサオミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 金曜日 2時限 22-302

※	ミュージアムと現代社会
授業の目的・目標	<p>(1) 授業の概要 本講義は、公立文化施設の中でも特にミュージアム(博物館・美術館)を取り上げる。近年のミュージアムは資料の収集と保存、調査研究、展示といった基本的機能に加え、市民の自己啓発支援、生活における「第3の場所」としての役割、地域アイデンティティの確立、観光振興といった幅広い役割を担っている。</p> <p>【特徴①】 以上のようなミュージアムの社会的役割の拡大と地域社会との関係の変化について教員自身の公立文化施設における実務経験に基づきながら言及しつつ、文化によるまちづくりの今日的潮流を考えて行く。このことにより、総論レベルから実務レベルまでを射程に入れ、ミュージアムの実態に即した具体的な問題解決の方法を提示する能力の涵養を目指す。</p> <p>【特徴②】 本授業は、受講者に複数の小グループに所属してもらい、授業の最初に小グループ内でその日の授業の該当箇所の要約を発表おこなってもらい、その後、教科書の内容を教員が適宜補足しつつ、チャットを用いたディスカッションを実施する。</p> <p>(2) 習得できる力 ・公立文化施設に関わる基礎的な理解が可能となる【知識・理解】 ・歴史や文化等、多領域にわたる知識や情報を組み合わせながら、公立文化施設の背景にある課題解決を目指すことができる【汎用的技能】 ・公立文化施設が抱える課題解決を通じて、社会の一員としての自覚を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる【態度・志向性】</p> <p>(3) 授業の到達目標 ・公立文化施設が抱える課題を歴史的な文脈を踏まえて思考できるようになる。 ・社会と文化の関係について独自の見解を述べるようになる。</p> <p>※本授業は学部ディプロマポリシーの①、④、⑧に該当する。 ※本授業のナンバーは、POL216Jである。</p>
準備学習等の指示	発表担当箇所のみならず、教科書を読み込み、事前に質問事項を用意して授業に臨むこと。
講義スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>公立文化施設とは何か—公立文化施設の概略について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアム(博物館・美術館)とは何か 調査・収集・展示の意味を理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの歴史(1) 見世物・博覧会 ミュージアムの前提となった見世物や博覧会について理解し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの歴史(2) デパート・史跡公園・公立ミュージアム 多様なミュージアムのあり方についての知識を習得し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>ミュージアムを取り巻く環境変化 今日ミュージアムを取り巻く環境について理解し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>ミュージアム政策の不在 公立ミュージアムが抱える政策上の課題とその背景について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>「文化の価値」とミュージアム 経済・社会包摂・幸福度との関連から公立ミュージアムに求められる役割について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの管理・運営体制 公立ミュージアムへの指定管理者制度導入について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>地域に生きるミュージアム 地域における公立ミュージアムの役割について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの古くて新しい課題 地域を記録する装置としての公立ミュージアムの役割について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの運営と資金調達 公立ミュージアムの自立した財政基盤の確保はどうかについて考察し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムとまちづくり まちづくりの拠点としての公立ミュージアムの機能について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムと人々のつながり 来館者の経験を豊かにするためのミュージアム運営について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> </ol>
教科書	河島伸子・小林真理・土屋正臣(2020)『新時代のミュージアム:変わる文化政策と新たな期待』ミネルヴァ書房
参考文献	適宜提示する
授業の方法	講義形式と反転授業

成績評価方法	期末試験(50%)、リアクションペーパー(40%)、授業での発言(10%) リアクションペーパーへのフィードバックは、次の授業時間内に口頭で行う。
オフィスアワー	授業開始時に指示する。
居室	12号館201号室
ホームページ	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・実際の施設を見学する場合もある。</li><li>・テキストの購入は必須である。</li></ul>
添付ファイル	